

柔らかな優しい雨に大地は潤い、春の息吹が感じられる季節となりました。本日ここに、御来賓の皆様のお臨席と保護者の皆様のお列席を賜り、令和五年度愛媛県立南宇和高等学校卒業証書授与式が挙行できますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びです。学校を代表致しまして、厚く御礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました八十名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

令和四年四月に赴任して以降の二年間ですが、皆さんと過ごしたこの期間は、とても充実した、中身の濃いものでした。

皆さんが2年生のとき、全国の公立高校で唯一南高だけが受賞した内閣府特命担当大臣表彰、そして、今年度、全国で一九校にしか与えられない文部科学省表彰を、教職員一同が受賞しました。いくつかの選択肢がある中で、皆さんは、この南高を選んでくれました。先に述べた全国クラスの受賞は、地域の方々、南校の教職員、そして何より南高を選んでくれた皆さんが主役で、皆で共に歩いて成長してきた証だと思っています。

南高には、いろいろなタイプの生徒がいます。自分とは合わない、嫌いな子もいたでしょう。しかし、それこそが社会の縮図で、学校というところは学びの場です。困ったとき、苦しいとき、考えて、試行錯誤して、時にはつまづき、助けをもらいながら、最後は自分で乗り越えていく場所、それが学校です。「若いころの苦労は買ってでもしなさい。」と先人たちはよく言ったものです。卒業生の皆さんの高い壁を乗り越えました。「若いころの苦労は、買ってでもしなさい。」この言葉をよく覚えておいてください。皆さんの若さはまだまだ続きますから。

もう一つ、「笑う門には福来たる。」という言葉も、皆さんに送りたいと思います。悲しみや苦しみを知って、初めて、笑いの価値が高まるのかもしれない。いつもヘラヘラしているさやか、だれかを笑いにするとかでは決してありません。心の底から、日々笑える人になってください。そうすれば、必ず福がやってくると思います。

保護者の皆様、本当によくぞこの素晴らしいお子様たちを南高にまかせて下さいました。あの新渡戸稲造から直筆メッセージのある県下屈指の伝統校を卒業されるお子様たちは、本日我々の手から離れます。とても寂しいけれど、心からお祝い申し上げます。

生徒会誌にも書かせてもらいましたが、南高で過ごした皆さんには、この地域伝統の“愛”があります。これは、人として最大の武器です。人間、最後は“愛”なのです。今年度講演に帰ってきてくださった高砂塾学小島社長にも、ゲーム界の神岡本様にも、皆さんに対する愛を感じました。皆さんは気付いてないかもしれませんが、南高生には愛がある。そこが最大の魅力です。

あらためまして、ご卒業、おめでとうございます。母校南高をいつまでも忘れないで。皆さんの前途がさらに輝かしいものになることを祈って、式辞といたします。